



富山市立富山市民病院



2022.12.24 富山県病院薬剤師会 90分でわかる！病院薬剤師のアレコレ

チーム医療と多職種連携 ～高齢者の脆弱性骨折に関わる薬剤師の立場から～

富山市立富山市民病院薬剤部 萩行 正博

自己紹介

経歴

- ・富山県出身
- ・県外の大学に進学
- ・2010年に富山市民病院に入職



認定資格

骨粗鬆症マネージャー(日本骨粗鬆症学会)



認定実務実習指導薬剤師

日本DMAT隊員



PhDLS(災害薬事研修コース)インストラクター



脆弱性骨折＝骨が脆くなって起こる骨折

定義：立った姿勢からの転倒、あるいはそれ以下の軽微な外力によって発生した非外傷性骨折

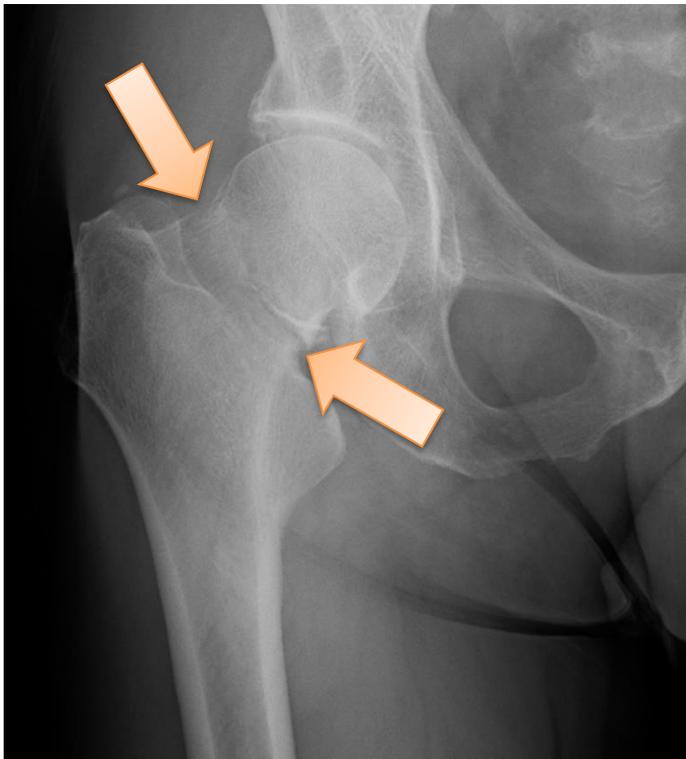
骨が脆くなる原因の多くが**骨粗鬆症**
⇒骨粗鬆症の高齢者に発生しやすい骨折

脆弱性骨折の好発部位

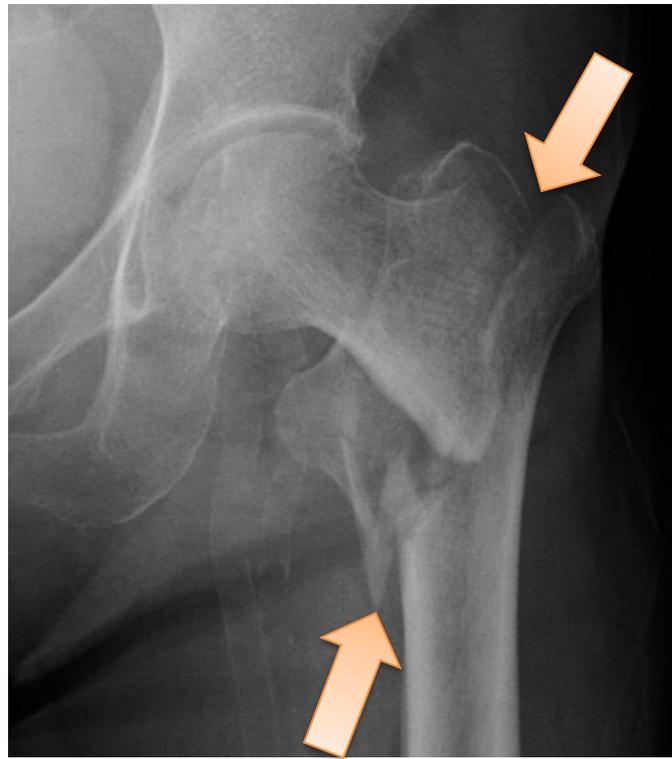
- ・橈骨遠位端骨折(手首)
- ・上腕骨近位部骨折(腕の付け根)
- ・脊椎椎体骨折(背中)
- ・大腿骨近位部骨折(脚の付け根)

生命予後を悪化させる重篤な骨折

大腿骨近位部骨折



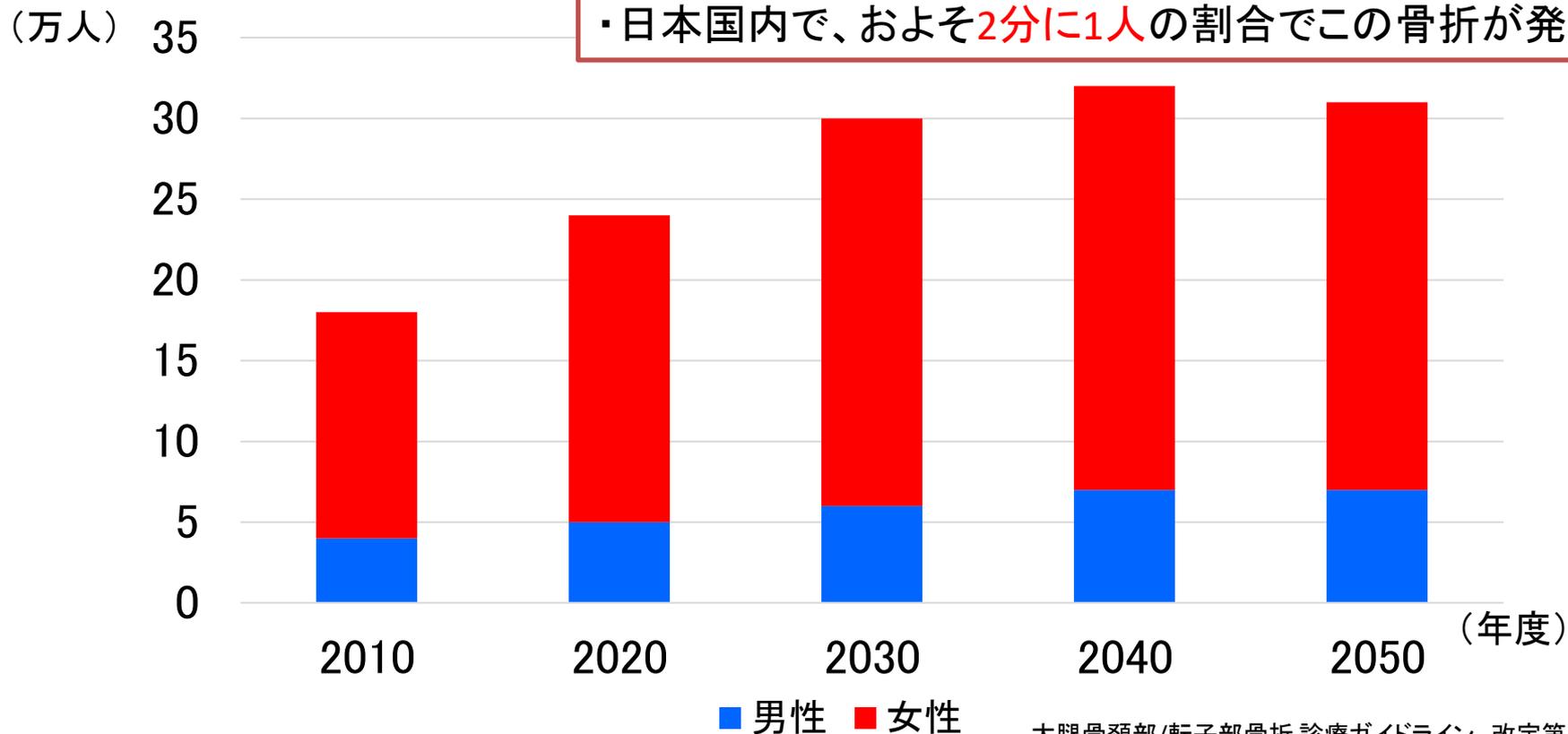
大腿骨**頸部**骨折



大腿骨**轉子部**骨折

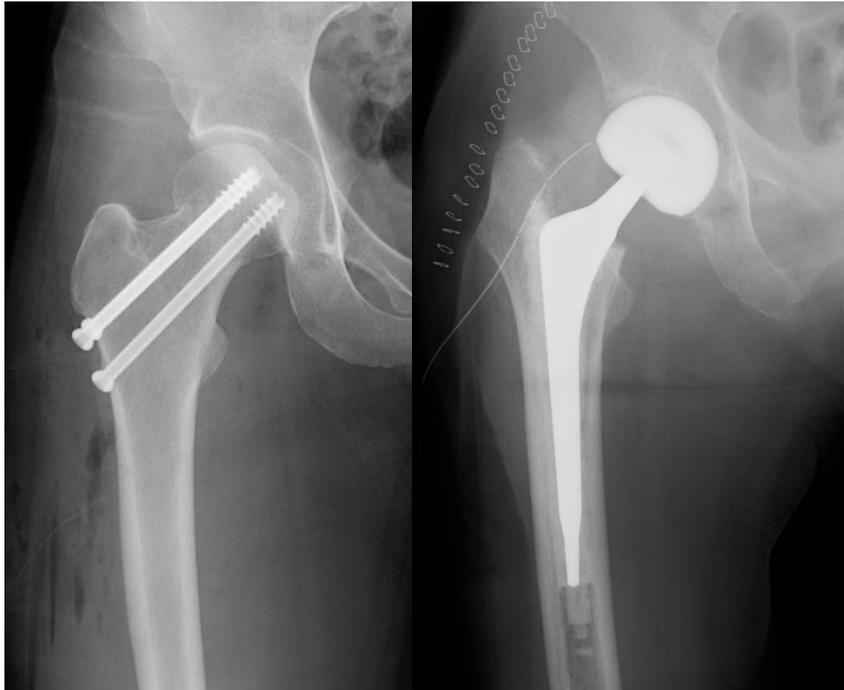
大腿骨近位部骨折患者の将来推計

- ・患者数は年々増加(日本では現在、年間25万人)
- ・日本国内で、およそ2分に1人の割合でこの骨折が発生



大腿骨近位部骨折の術式

大腿骨頸部骨折



骨接合術

人工骨頭置換術

大腿骨転子部骨折



骨接合術

手術をすることだけが治療ではない！

転倒
骨折



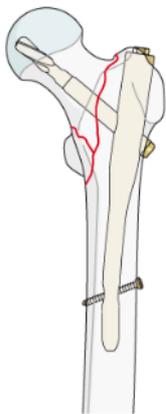
入院

手術

リハビリ開始

日常生活復帰

48時間
以内



早期手術

再骨折予防

(骨粗鬆症治療・転倒予防)

多職種の協力が必要

救急科・内科・麻酔科

薬剤師 看護師 理学療法士
管理栄養士 MSW

諸外国と比べ、日本では「**早期手術**」と「**再骨折予防**」の取り組みが非常に遅れている
⇒チーム医療・多職種連携で「早期手術」と「再骨折予防」の実現へ!

高齢者大腿骨近位部骨折に対する多職種連携(2013~)

1. 安全・円滑な早期手術へ

- 初療時からの内科医師の介入(70歳以上の全例診察)
- 専用統一電子カルテの導入

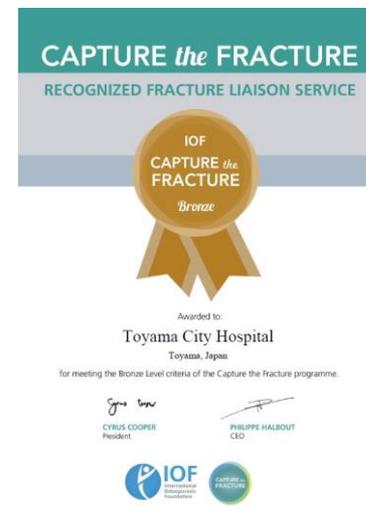


2. 周術期合併症の軽減

- 精神科と連携した精神障害(せん妄)の予防
- 老年内科医の介入

3. 再骨折予防:骨粗鬆症治療の確実な開始と患者教育

- 薬剤師による骨粗鬆症治療薬剤の管理・指導
- 骨粗鬆症に対する学習会・生活指導
- 骨粗鬆症マネージャーの活動・骨粗鬆症内服継続率の調査



多職種カンファレンス(再骨折予防の方針決定)

薬剤師(再骨折予防担当)

整形外科医師
(高齢者骨折担当)

高齢診療科
(老年内科)医師

薬剤師(整形外科病棟担当)

理学療法士

看護師

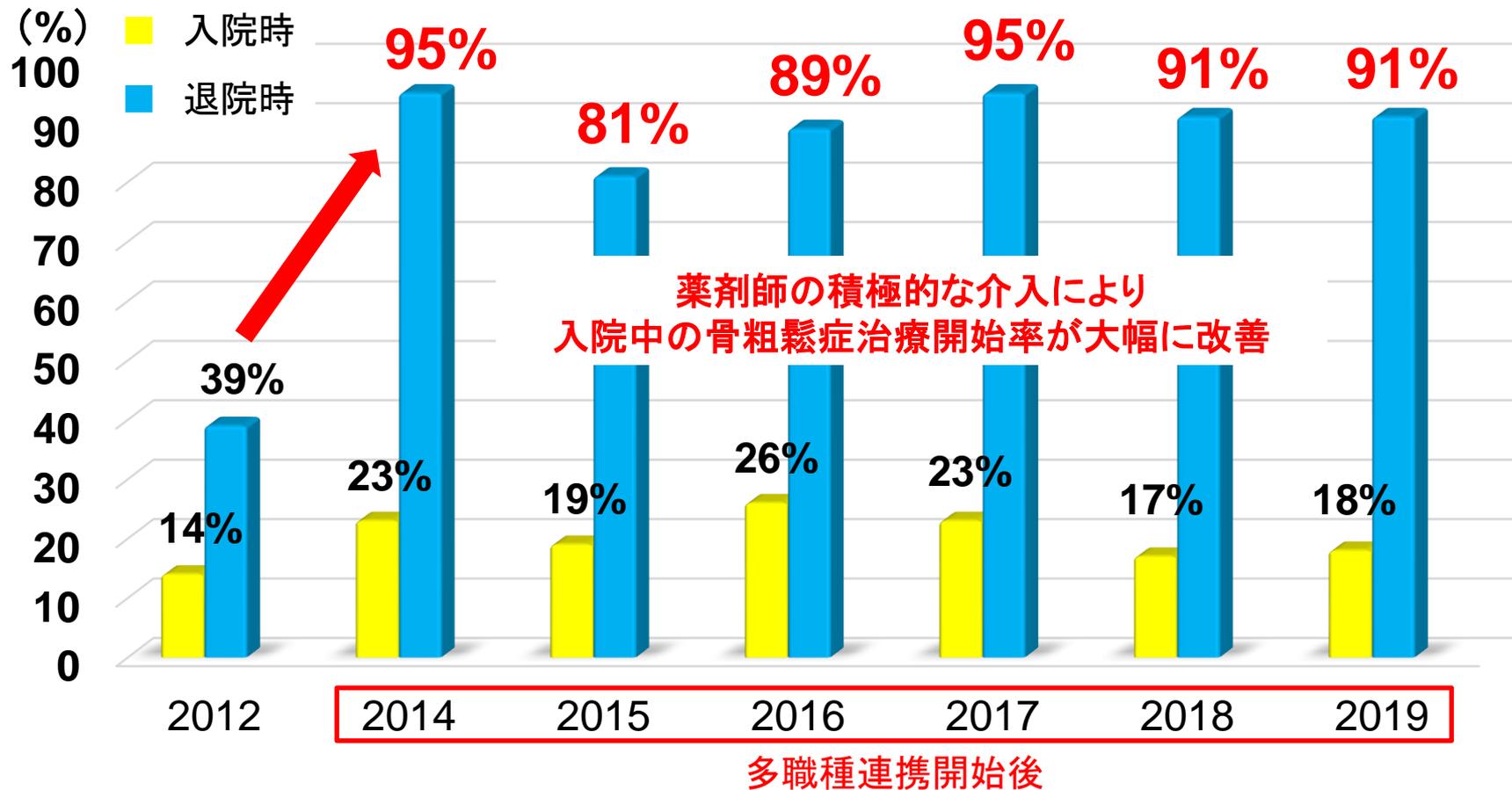
週1~2回開催
(1回30分程度)

- ・治療薬の選択
- ・検査結果
- ・合併症の予防・治療
- ・処方適正化
- ・転倒予防への介入
- ・歯科口腔外科受診
- ・口腔ケアラウンド介入
- ・その他問題点

上記を多職種で検討

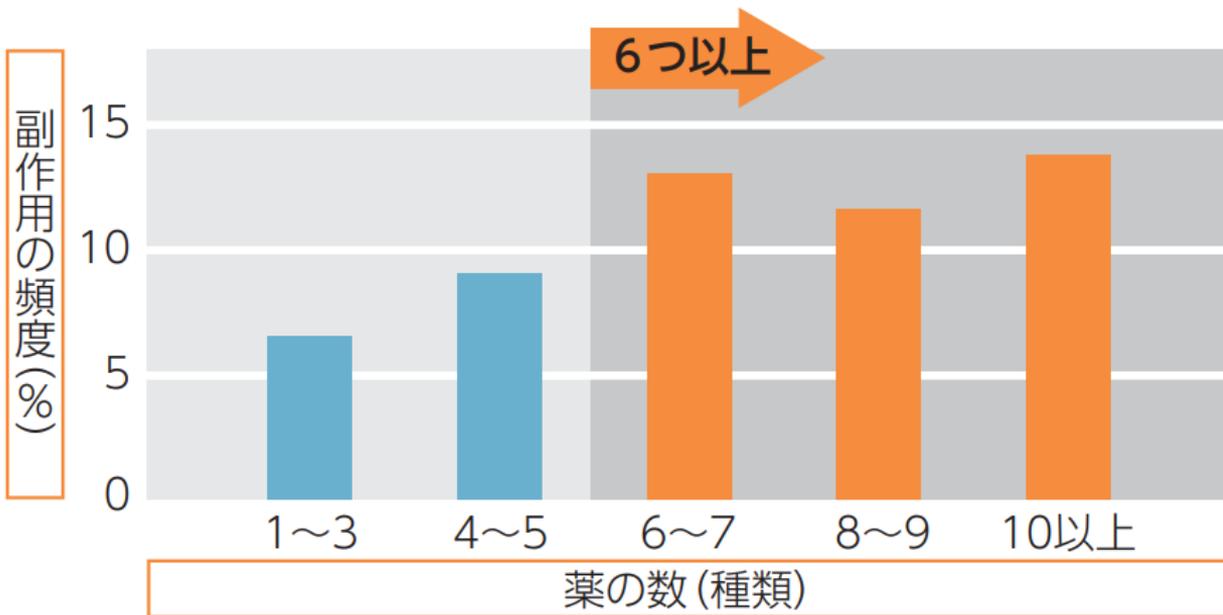


骨粗鬆症薬物治療率 (当院の大腿骨近位部骨折患者)



転倒予防とポリファーマシー

薬の数と副作用の頻度との関係



日本老年医学会「高齢者が気を付けたい 多すぎる薬と副作用」より

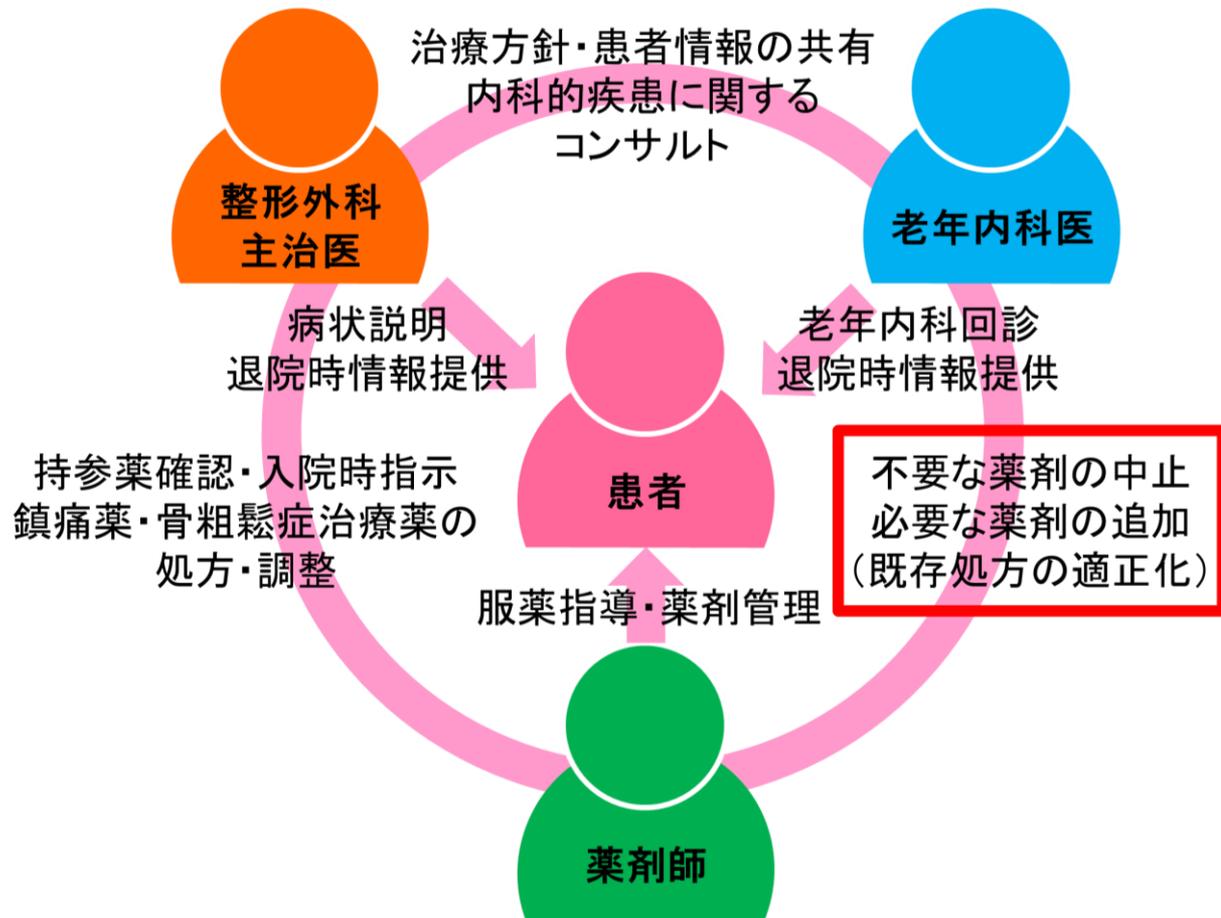
薬が**6種類**以上で
転倒を含む副作用が増加

睡眠薬、抗不安薬などは
特に注意が必要



不要な薬をできるだけ減らし、転倒予防につなげる

整形外科医・老年内科医・薬剤師の連携





理学療法士・看護師による
手術後早期からのリハビリ



薬剤師による
骨粗鬆症薬の指導



電話による
退院後の治療支援

大腿骨を骨折された患者さんの治療と支援に、多職種で取り組んでいます

薬剤師の役割と連携（再骨折を予防するために）

薬剤師の役割

- 骨粗鬆症薬物治療の開始と継続
- 骨粗鬆症治療薬の継続と転倒予防を目指した処方 of 適正化

薬剤師と他の職種との連携（入院患者に対して）

整形外科主治医と、治療方針の共有

看護師と、患者の状態把握や服薬支援に関する連携

老年内科医と、処方の適正化を目指した連携

理学療法士と、リハビリ時の疼痛コントロールのための連携

管理栄養士と、栄養状態や嚥下状況の把握・改善のための連携

社会福祉士と、転院先や退院後の患者の生活・療養環境に関する連携



富山市立富山市民病院

薬剤部の見学は随時受け付けています

TEL : 076-422-1112 (代表)

担当 : 舟瀬 までご連絡ください



骨粗鬆症や脆弱性骨折に興味がある、
もっと知りたいという方は
萩行までご連絡ください

E-mail: hangyou@tch.toyama.toyama.jp

